

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全・安心・快適に利用できる複合型交流拠点の創出（防災・安全）														
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）					交付対象	由利本荘市								
計画の目標	<p>由利本荘総合防災公園は、由利本荘市地域防災計画において、地域防災拠点として位置づけられ、大規模災害発生時には、支援活動の集結場所、ベースキャンプとなる広いスペースの確保、また、緊急輸送路に面しているという特性を活かし、救援物資の集積・輸送拠点としての施設整備を図る。さらに、市街地に位置し、沿岸部に近接しているものの津波被害が及ばない地域と想定されているため、避難場所や屋内避難所として活用し、市民の安全な暮らしを支える総合的な防災機能と、スポーツやイベント等による健康増進・交流促進機能の向上を図る。</p>														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 防災機能の向上を図り、一時避難者の受入可能人口を3,300人（H25）から10,000人（H29）へ増加させる。 公園施設を整備することにより、年間の公園利用者数を44,000人（H29）へ増加させる。 														
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考			
									当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)				
	施設整備後の公園施設面積等から一時避難者収容可能人数を算出する。 (現況値は地域防災計画による既存地の避難人口。目標値は施設整備後に可能となる一時避難者収容人数から算出。)								3,300人	-	10,000人				
	施設整備後の年間公園利用者数を測定する。 (目標値は、市内類似施設の年間利用実績を基に、整備計画床面積により案分して算出。)								0人/年	-	44,000人/年				
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,263百万円	A	3,263百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%				
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期			事業期間終了後の定量的指標測定終了後（令和元年10月）						
由利本荘市都市公園事業担当課において、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施						公表の方法			由利本荘市ホームページで公表						
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	公園	一般	由利本荘市	直接	由利本荘市	都市公園事業（由利本荘総合防災公園）	広場、アリーナ、駐車場、11ha（全体13ha）	由利本荘市						3,263	
									合計					3,263	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H25	H26	H27	H28	H29		
合計												0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・由利本荘総合防災公園の未供用区域を整備することにより、大規模災害発生時の支援活動の集結場所等を確保することが可能となり、一時避難者の受入可能人口が10,000人に増加するなど防災機能を向上させた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（一時避難者の受入可能人口）	最終目標値	10,000 人	目標値と実績値に差が出た要因	指定管理者に公園施設の運営及び維持管理を委託したことにより、指定管理者のノウハウを活かしたイベント誘致が積極的に行われ、目標とする公園利用者数を上回った。
		最終実績値	10,000 人		
	指標②（年間公園利用者数）	最終目標値	44,000 人/年		
		最終実績値	165,051 人/年		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・公園内に複合型施設を整備したことにより、広域的なスポーツ大会や各種イベントが多数開催され、観光業を始めとする本市の経済活動の振興に寄与する結果となった。			

3. 特記事項（今後の方針等）	
・市民の安全・安心な暮らしを支える総合的な防災機能と、スポーツやイベント等による健康増進・交流促進機能の向上を図るため、引き続き未供用区域の整備を進める。	

(参考図面) 都市公園 (防災・安全)

計画の名称	1 安全・安心・快適に利用できる複合型交流拠点の創出 (防災・安全)	交付対象	由利本荘市
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)		

**1-A-1
都市公園事業
由利本荘総合防災園**

- 施設名等**
- ・アリーナ A=17,000㎡
 - ・駐車場 A=20,000㎡
 - ・多目的広場 A=20,000㎡

- 災害時
避難施設**
- 一次避難所
 - 一次避難所
(救援物資中継所)

